

2023.2.17

# 2022 寒河江市スポーツ大会・ 合宿等交流事業（補助事業）

寒河江市教育委員会スポーツ振興課 笹原

## ① 事業の名称・経緯

平成31年4月～

「寒河江市スポーツ大会・  
合宿等誘致推進事業」

※平成30年6月～

「山形県文化・スポーツによる交流促進事業  
(旧：県スポーツ大会・合宿等誘致推進事業)」

## ② 事業の趣旨

・ スポーツを通じた交流の推進と地域活性化、本市の更なるスポーツの振興を図るため、県外のスポーツ団体が市内のスポーツ施設及び宿泊施設を利用して行うスポーツ合宿、練習及び交流試合、大会の実施に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

(1人1泊1,000円・総額20万円以内)

## ③ 交付の対象

- ・ 市内のスポーツ施設利用及び宿泊
- ・ 期間中に1回以上、市民との交流
- ・ 宿泊日数が連続3日以上
- ・ 延べ参加者数が50人泊数以上
- ・ 山形県文化・スポーツによる交流促進事業費補助金の要件に該当するもの
- ・ 類似する他の補助金等を受けないこと
- ・ 宗教活動・政治活動を目的としないもの

## ④ 令和4年度の実績

### 1. 慶應義塾体育会野球部 (88名)

#### 合宿期間

令和4年8月15日(月)から25日(木)

#### 利用施設

山形県野球場(荘銀・日新スタジアム):中山町  
寒河江市屋内多目的運動場(チェリーナさがえ)  
チェリーパークホテル・ホテルサンチェリー:寒河江市

# 1. 慶應義塾体育会野球部

## 合宿に至った経緯①

山形県スポーツコミッション

・スポーツインダストリーによる誘致(成果)

## 合宿に至った経緯②

民間事業者による誘致(実績)

## 合宿の目的

東京六大学野球秋季リーグ戦に向けた強化

仙台大・山形大他練習試合・寒河江高合同練習

# 1. 慶應義塾体育会野球部



# 1. 慶應義塾体育会野球部



# 1. 慶應義塾体育会野球部



# 1. 慶應義塾体育会野球部

## 合宿の状況（成果と課題など）

- ・ 大所帯の受け入れ（宿泊及び交通）
- ・ 大所帯の受け入れ（体育施設）
- ・ 県市、民間及び競技団体等の協力（組織力）

## 事業費等

補助金 20万円・歓迎のぼり・季節の果物等

## **④ 令和4年度の実績**

### **2. 山形県バスケットボール協会**

**「台湾 東泰高校男子バスケットボール部 (20名)」**

**合宿期間 (寒河江市宿泊は10日迄)**

**令和4年10月5日(月)から14日(金)**

**利用施設**

**寒河江市市民体育館ほか近隣体育館**

**寒河江市市民体育館合宿所**

**ひまわり温泉ゆらら：中山町**

## 2. 山形県バスケットボール協会 (台湾 東泰高校男子バスケットボール部)

### 合宿に至った経緯

- ・ 山形県バスケットボール協会会長の人脈
- ・ 寒河江市バスケットボール連盟の協力

### 合宿の目的

本県（高校）バスケットボールの強化・市中学校の強化と交流、併せて、台湾と本県及び寒河江市の国際交流の進展

## 2. 山形県バスケットボール協会 (台湾 東泰高校男子バスケットボール部)



## 2. 山形県バスケットボール協会 (台湾 東泰高校男子バスケットボール部)



## 2. 山形県バスケットボール協会 (台湾 東泰高校男子バスケットボール部)

### 合宿の状況（成果と課題など）

- ・ 外国人とのコミュニケーション
- ・ 外国人の生活習慣等
  - ①食事 ②風呂 ③布団 ④トイレ
- ・ 競技団体の協力（組織力）

### 事業費等

補助金 12万円・歓迎のぼり・地元銘菓等

1. 慶應義塾体育会野球部

2. 山形県バスケットボール協会

(台湾 東泰高校男子バスケットボール部)



1. 慶應義塾体育会野球部
2. 山形県バスケットボール協会  
(台湾 東泰高校男子バスケットボール部)

## 新型コロナウイルスの影響

- ① 行程への影響、手続等の煩雑化
- ② 市民への周知（観戦等）の制限
- ③ 歓迎・交流部分の制限

## ⑤ スポーツツーリズム

寒河江市スポーツツーリズム推進協議会  
(平成31年4月～)

- ★地方創生推進交付金 「スポーツツーリズム推進によるまちづくりプロジェクト」
- ・自転車活用イベント等の下地  
「ツール・ド・さくらんぼ」  
「ランニングバイク（ストライダー）エンジョイカップ」
- ・トリアスロン、カヌー等 水上スポーツの基地  
「最上川寒河江緑地（グリバーさがえ）」  
➡東京2020関連 パラトリアスロン（合宿及び交流事業）
- ・東北最大級のさがえスケートパーク（2018～交流等活性化）  
➡東京2020ホストタウン（韓国KRSF：ローラースポーツ連盟）

# ⑥ 寒河江市のまちづくり事業としてのスポーツツーリズム（方向性）

スポーツ振興の将来像 ～スポーツタウン寒河江を目指して～ まちづくりのツールとしてのスポーツツーリズム

≪スポーツ実施率の向上≫

市民の健康づくり  
(健康寿命の延伸)



≪地域(スポーツ)活性化≫

交流人口の拡大と経済への波及

コンセプト：「する+みる+支える（スポーツの多様性）」

ウィズコロナからアフターコロナに向けた対応（転換期）

「市民の健康づくりと、市民向け・参集範囲等を制限した事業(スクールなど体験・普及・期間開催型)の充実(優先)」

「外部発信型事業の整理（調整）」

「日常化と常設型の環境整備を明確化」

・サイクルモデルコース **する**  
・レンタサイクルステーション

自転車を活用したまちづくり

ストライダー・BMX  
ツール・ド・さくらんぼ

グリバーさがえ

トライアスロン

する  
+  
みる  
+  
支える  
(スポーツの多様性)

・日本選手権 ⇒ さらに大きな大会へ  
・観戦者増の取り組み **みる**  
⇒ + **支える** (市外ボランティア等)

**する** ※オンライン (新規層へのアプローチ)  
↓  
ハイブリッド → リアル(コロナからの前進)  
現状 3,000 → 将来 5,000 人規模  
(市民の理解) **支える**

日本一さくらんぼの里

さくらんぼマラソン&ウォーク

アーバンスポーツのメッカ

スケートボード・  
3×3バスケット・(BMX)

・スクール(期間開催) **する**  
・用具レンタル(常設)  
・施設整備(パンプトラック他)

・空きスペースを利用した体験  
や練習環境 **する**  
・中心市街地等での大会開催 **みる**



より身近なスポーツ環境 ⇒ 通年で人が集う

街中に若い世代が集う





**ご清聴 ありがとうございます。**

**寒河江市**